

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

36	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①特色ある国際理解教育と「総合的な探究の時間」に係る研究と実践をとおして、探究的でグローバルな視野を持つ人材を育成する。</p> <p>②「育てたい生徒像」を見据え、共通性と多様性のバランスに配慮した教育課程の策定と実施を図るとともに、特別活動の充実をめざす。</p> <p>③「主体的・対話的で深い学び」をめざし、授業改善を実施する。</p> <p>④基礎的基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視し、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>①特色ある国際理解教育を継続的に実践する。SDGsに係る探究の研究指定3年目として「総合的な探究の時間」については、これまでの取組みを総括し、研究指定最終年度の取りまとめを行う。</p> <p>②特別活動の充実をとおして自己理解を深め、自己肯定感を高める支援を行う。</p> <p>③④「主体的・対話的で深い学び」を昨年引き続き校内共通のテーマとし、ICTを活用した授業づくりをテーマとした授業改善に取り組み、生徒の基礎学力の養成および生徒の主体的な学習態度を養う。</p>	<p>①姉妹校交流の実践的活動を行い、生徒の英語利用の場を設定する。また、GTECや英検等の試験を通して、国際理解への意識づけを行う。</p> <p>・3年生が行ってきたSDGsの探究的活動を1・2学年に確実にフィードバックし、より精選した取り組みを行う。</p> <p>②特別活動の実施において、生徒自身が考え、主体的に活動できる場を設定し、「自ら考え行動する人材を育成する。</p> <p>③④「ICTを活用した学校における学習と家庭学習の連携」を共通のテーマとし、授業研究を進める。</p> <p>④教科学習やSDGs探究活動においてGoogle Classroomを活用し、生徒の基礎学力・主体的な学習態度を養う。</p>	<p>①国際理解教育を意識した実践的な活動を継続的かつ発展的に行うことができたか。</p> <p>・英検等の外部試験の受験者が昨年度より増加したか。</p> <p>②年間を通じての生徒の自己評価において、特別活動に主体的に取り組んだと考える生徒の割合が全校生徒の7割を超えているか。</p> <p>③④前期、後期において授業公開及び授業研究を行い、Google Classroom等、ICTを利活用した授業が実践できたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①部活動の充実をとおして自己理解や他者理解を深める支援を行う。</p> <p>②交通安全指導を通してマナーの向上と事故防止に取り組む。</p> <p>③人権尊重の精神および規範意識を高める取組を推進する。</p> <p>④生徒一人ひとりの個に応じた生徒支援体制の確立を図る。</p>	<p>①部活動をとおして個性を伸ばし、自主性や協調性、責任感、連帯感などを養い、好ましい人間関係を形成する。</p> <p>③④生徒一人ひとりが、のびのびと安心して学校生活を送れるようにいじめ等のトラブル防止に重点を置いた取り組みを行う。また、情報共有による協働支援体制を整え、迅速に係関係機関と連携した適切な支援を行う。</p>	<p>①部活動顧問の積極的な取組と共に、教職員間の連携を図り生徒が主体的に活動し成長できるように支援する。</p> <p>③④日々の教育活動といじめに関するアンケートや面談を通じて、実態を把握し、問題に対して迅速な対応を行う。</p> <p>・支援が必要な生徒や不登校生徒対応等について全職員の共通理解を図り、スクールカウンセラーや関係機関と連携する。</p>	<p>①部活動調査において、主体的に取り組んだと振り返る生徒の割合が参加した生徒の7割を超えているか。</p> <p>③④いじめやSNSにおけるトラブルをなくす取組を行い、問題に対して適切な対応ができたか。生徒の情報共有を図り、関係機関と連携し、生徒および保護者に適切な支援ができたか。</p>

36	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>① 大学等における多様な入試形態を見据え、生徒一人ひとりの進路希望実現に向けたきめ細かな支援体制を充実させる。</p> <p>② 教科における学習活動と進路指導との連携を図り、生涯にわたって基盤となるキャリア教育を実施する。</p>	<p>① 入試動向情報を的確に把握し、生徒の進路希望に沿った進路実現を支援する。</p> <p>② 高大連携事業やインターンシップへの参加を積極的に進める。</p>	<p>① 大学等の入試担当者を招き、直近の入試情報や入試対策についての講演を実施する。</p> <p>・進路指導室を拡充し、生徒との相談体制を強化する。</p> <p>② 生徒の校外での活動機会を確保するため、大学・企業・事業所等に積極的な広報活動を図る。</p>	<p>① グループウェアシステムも活用しながら、できるだけ双方向による情報獲得を行い、進路実現の支援ができたか。</p> <p>② 大学、企業、事業所等と連携事業、インターンシップへの参加ができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>① 生徒一人ひとりが社会参画意識をもって地域や世界とつながる意識を高める支援を行う。</p> <p>② 地域等と連携・協働した災害への備え、対応をさらに深める。</p>	<p>① 学校周辺の美化活動を実施し、地域に愛される学校を目指す。</p> <p>① ボランティア活動を通じて、社会の一員としての意識を醸成する。</p> <p>② 防災に対する意識と行動力を高め、「いのちの大切さ」、「自助・互助・公助」の意識を高める。</p>	<p>① 各学年で、年1回学校周辺のゴミ拾い活動を実施する。</p> <p>① ボランティア活動の案内を広く周知し、生徒の積極的な参加を促す。</p> <p>② 防災意識と行動力を高めることができる避難訓練を実施する。</p> <p>・地域の行政機関と連携した防災教室及び防災体験を実施するとともに、避難所運営の緊密化を図る。</p>	<p>① 各学年、年1回学校周辺のゴミ拾い活動が実施できたか。</p> <p>① ボランティア活動に参加し、地域に参画する意識が向上したか。</p> <p>② 生徒の防災意識と行動力を高めることができたか。</p> <p>・地域の行政機関と連携した防災教室を実施するとともに、避難所運営の緊密化を図ることができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① ICT環境の整備改善を進めるとともに、HP等を活用して本校の教育活動に係る情報発信を充実させる。</p> <p>② 安心・安全な教育環境の整備を充実させるとともに、事故・不祥事防止のさらなる徹底を図る。</p> <p>③ 働き方改革の推進に向けて、組織的な取組を進めていく。</p>	<p>①③ 年次進行的に進めてきたICT機器の整備を継続し、より多くの授業等で活用を図る。また、情報機器の適切な管理と利活用を促進し、教材の共有化、校務処理の迅速化、効率化をさらに進める。</p> <p>① HPの更新頻度を上げ、本校の教育活動の情報発信をより増やす。</p> <p>② 生徒・教職員が安心して安全に過ごせる教育環境整備の充実に向けた修繕を行う。またゴミの減量化のさらなる徹底を図り、SDGsを意識したクリーンで安全安心な環境づくりを心掛ける。</p>	<p>①③ 整備されたChrome Book等ICT機器を有効活用した授業を実践する。また、教材の共有化、Teams等を活用した校務処理の迅速化、効率化を行い働き方改革を実践する。</p> <p>① 各グループ等で情報発信を積極的に行えるシステムの構築を図り、発信頻度を上げ、HPを充実させる。</p> <p>② 年2回の学校施設点検を実施し、修繕箇所を発見し、速やかな修繕を行う。</p> <p>② 各教室にゴミ箱を設置しないことにより、生徒一人ひとりがゴミの持ち帰りを意識する環境づくりを行う。</p>	<p>①③ 各教科やHR活動等でのICT機器の効果的活用が行えたか。また、教材の共有、Teamsの活用により校務処理がより迅速化、効率化され、業務時間の短縮につながったか。</p> <p>① 各グループ等での情報発信をする頻度が増えたか。</p> <p>② 年2回の学校施設点検を実施し、修繕の必要な箇所の修理を行い安全な環境を確保できたか。</p> <p>② 生徒のゴミの持ち帰り意識が向上したか。</p>